

村上総合病院での一か月

今までの実習で最も充実した一か月でした。実習は毎日朝の採血から始まります。毎日採血をさせてもらい、採血に対する不安がだいぶ減りました。指導していただいた看護師さん、協力していただいた患者さんのおかげで最初に比べて上達したと思います。採血が終われば、午前中の新患外来の診療に移ります。今までの実習では先生の外来を見ているだけがほとんどでしたが、今回の実習では実際に自分で患者さんに質問し、診察をさせてもらうことができました。A I問診での結果を見て、自分が聞きたいこと、取りたい所見を考えて下準備を行ってから診察を行い、鑑別疾患をあげて上級医にプレゼンを行うという一通りの経験が出来たことで将来の働き方のイメージがより鮮明になりました。

産科外来も何度か見学させていただきました。妊婦さんのエコーも何度か当てさせてもらって、コツもつかめました。無医村である粟島の診療所にも実習に行きました。医師も薬局もなく、薬の処方が欲しくてもすぐには受け取れず、テレビ通話で村上総合病院の医師に診察してもらってから郵送してもらわないといけず、普段通りの医療が行われていない場所があるのだと驚きました。観光としても島を電動自転車で一周して海鮮や島の自然を楽しみました。本土とは時間の流れが違うような不思議な感覚を覚えました。

この実習を通して、より地域の医療を担う医師になりたいという気持ちが強まりました。